

## パレスチナ自治区ガザ地区及びイスラエルに おける即時停戦と早期和平の実現を求める要望書

2023年10月7日に始まったハマスによる無差別攻撃に対するイスラエルの大規模攻撃により、パレスチナ自治区ガザ地区では、市街地に甚大な被害をもたらし、子どもを含む3万6千人を超える一般市民の尊い命が犠牲となっており、現地では飢餓や感染症のまん延など深刻な状況が続いていると伝えられている。

この紛争に対し、5月24日に国際司法裁判所がイスラエルにガザ地区南部ラファでの攻撃停止を求める暫定措置を命じ、6月10日に国連安全保障理事会がイスラエルとイスラム組織ハマスの停戦案を支持する決議案が採択されるなど、国際機関による働き掛けが行われているが、攻撃はなお続いており、状況が改善する兆しは未だ見られない。

文京区は、昭和54年12月7日に平和宣言を行っており、どのような理由があろうとも、民間人の犠牲をいとわない武力行使は、文京区議会として断じて容認できない。

よって、文京区議会は、イスラエルとハマスの双方を始めとする全ての当事者及び国際社会に対し、一刻も早い平和的手段による事態の解決に向け、次の事項について一層の外交努力を求めることを要望する。

- 1 パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦及び人質の即時・無条件の解放
- 2 国際人道法を含む国際法、国際司法裁判所による仮保全命令の遵守
- 3 民間人の被害の最小化、人道支援物資の供給を通じた人道危機の改善

令和6年8月8日

文京区議会議長 白石 英行

内閣総理大臣	岸田 文雄 様
外務大臣	上川 陽子 様
衆議院議長	額賀 福志郎 様
参議院議長	尾辻 秀久 様